

令和3年度 経営発達支援計画 事業評価報告書

事業計画期間 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日

事業報告期間 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日

多賀町商工会

令和3年度 多賀町経営発達支援計画

事業評価報告

■ 評価にあたって

経済産業省より認定されたこの計画は、令和3年4月から令和8年3月までの5年間にわたり、多賀町において小規模事業者の事業計画策定・実施支援や新たな需要開拓につながる商談会等の出展支援などを行い、小規模事業者の事業の継続的な発展に向けて支援するものです。

この計画に基づき多賀町独自の小規模事業者支援を行って参りました。その事業実績について事業評価委員会を設け評価を行います。

1. 評価の目的

経営発達支援計画に基づいて実施した事業の客観的な評価を行い、次年度以降の各事業の見直し等につなげることを目的としています。

2. 経営発達支援事業のPDCAイメージ図



3. 評価基準について

当報告書において、以下の基準を設定し評価を行いました。

<評価基準>

A	目標を達成することができた。(100%以上)
B	目標を概ね達成することができた。(80~99%)
C	目標を半分程度しか達成できていない。(30~79%)
D	目標達成をほとんど達成できてない。(30%未満)
E	未実施であった。

■ 多賀町商工会経営発達支援計画の概要

実施者名 (法人番号)	多賀町商工会 (法人番号 6160005004974) 多賀町 (地方公共団体コード 254436)
実施期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
目標	<p>経営発達支援事業の目標</p> <p>①事業計画策定、実行による経営手法の確立 勘や経験に頼る経営手法ではなく、売上拡大・収益改善を図り持続的発展を目指すには、消費者動向を見極め自社分析の結果を基に事業計画書を策定し、計画に裏付けられた事業活動を実行する経営手法の確立が重要となる。実効性のある事業計画の立案・フォローアップ支援を伴走型で行う。</p> <p>②新商品・新サービスの開発と販路開拓支援 「新たな生活習慣」での消費者ニーズ及び市場を見据えた新商品新サービスの開発や既存商品のブラッシュアップを図ることで新たな販路開拓をめざす。</p> <p>③地域産品や観光資源を活用した地域経済の活性化 地域資源ブランドの確立と観光振興による地域経済活性化を推進する。</p>
事業内容	<p>経営発達支援事業の内容</p> <p>3-1. 地域の経済動向調査に関すること</p> <p>①国等が提供するビッグデータの活用 ②支援機関と連携した業種ごとの景気動向調査データ分析</p> <p>3-2. 需要動向調査に関すること</p> <p>①展示会、商談会出展による需要動向調査 ②イベント会場・観光地での消費者アンケート調査</p> <p>4. 経営状況の分析に関すること</p> <p>①ローカルベンチマークやSWOT分析・3C分析の活用 ②分析結果のフィードバックとデータベース化</p> <p>5. 事業計画策定支援に関すること</p> <p>①事業計画作成セミナーの開催 ②第2創業・経営革新セミナーの開催 ③創業セミナー・個別相談会の開催</p> <p>6. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p> <p>①四半期毎の巡回訪問によるフォローアップ</p> <p>7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</p> <p>①商談会への出展による販路開拓支援 (BtoB) ②地域イベントへの出展による販路開拓支援 (BtoC) ③IT・SNS活用による販路開拓支援</p> <p>11. 地域活性化に資する取組</p> <p>①町担当者との連絡会議の設置 ②地域資源の「多賀そば」ブランド確立の推進 ③絵馬通りの活性化を考える会会議への積極的参画</p>
連絡先	<p>①多賀町商工会 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 230-1 TEL:0749-48-1811 / FAX:0749-48-2188 / E-mail:tagacho@mx.bw.dream.jp</p> <p>②多賀町 産業環境課 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 324 TEL:0749-48-8118 / FAX:0749-48-0549 / E-mail:shokan@town.taga.lg.jp</p>

■ 経営発達支援事業の内容

3-1. 地域経済動向調査に関すること

[実施内容・定量目標達成率]

1) ビッグデータを活用した地域経済動向調査

国が提供するビッグデータを活用した地域経済分析システム（RESAS）等を活用し、地域内循環と外から稼ぐ力の現状分析を行う計画でしたが、実施できませんでした。



項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
分析回数	1回	0回	0%	E

[この取り組みに対する効果・検証]

「1) ビッグデータを活用した地域経済動向調査」については、進捗管理ができていなかったため、実施できませんでした。地域経済分析システム（RESAS）の最新データが2015年となっていること、新型コロナウイルスの影響が長期化して先行きが不透明な状況であったことから、分析目的を見出すことが困難でした。財源確保も含め計画的な実施と進捗管理を徹底する必要があります。

3-2. 需要動向調査に関すること

[実施内容・定量目標達成率]

1) 展示会、商談会出展による需要動向調査（BtoB）

新製品、新商品の販路開拓に取り組む支援事業者が出展する展示会（外食ビジネスウィークと農業ウィーク）の展示ブース内において、需要動向調査を実施しました。ブース内で経営指導員等が来場者やバイヤーに対して需要動向に関するアンケート調査を実施し、調査結果をブースレポートにまとめました。展示会終了後、出展支援事業者4社に対してブースレポートを提供してフィードバックを行いました。



項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
調査対象事業者数 需要動向調査(BtoB)	1社	4社	400%	A
調査サンプル数	20	97	485%	A

2) イベント会場・観光地での消費者アンケート調査 (BtoC)

新商品開発や現商品のブラッシュアップを目的として、イベント会場・観光地での消費者アンケート調査 (BtoC) を実施しました。EXPASA多賀11周年感謝祭の会場にて、多賀そば地域協議会が地域産品「多賀そば」の展示販売を実施し、来場者に対してヒアリング調査を実施しました。



項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
調査対象事業者数 消費者アンケート調査(BtoC)	2社	1社	50%	C
調査サンプル数	30	15	50%	C

[この取り組みに対する効果・検証]

新型コロナウイルスの影響で「しんきんビジネスマッチングフェア」や「多賀ふるさと楽市」など、当初調査の実施を予定していた展示会、商談会やイベントの多くが中止されたため、一部の需要動向調査が計画通りに実施できませんでした。需要動向調査はコロナ禍において直接商品評価して頂ける数少ない機会として有意義であると実感しました。継続実施するためには、支援事業者の選定と財源確保も含めた工夫が必要であると考えられます。

4. 経営状況の分析に関すること

5. 事業計画策定支援に関すること

[実施内容・定量目標達成率]

「巡回訪問や窓口相談時のヒアリング(参考1)」、また「セミナー受講者の内意欲ある者のピックアップ(参考2)」を通じて、意欲があり販路開拓の可能性の高い事業者を選定し支援を行いました。「経営状況の分析」と「事業計画策定支援」は、主に補助金申請支援(参考3)などの一連の流れの中で一体のものとして実施しました。経営指導員等は経済産業省のローカルベンチマー

ク等のソフトを活用し経営分析を実施した後、分析結果を活用して、補助金申請支援や金融支援にも対応する事業計画策定を支援しました。

項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
経営分析件数	20件	27件	135%	A
事業計画策定件数	22件	28件	127%	A

上記対象事業者の内訳（支援に至った経緯）

項目	定量目標	実績
巡回訪問・窓口相談時のヒアリングでの掘り起こし	16件	25件
事業計画策定セミナーの受講者の内 意欲のある者	2件	1件
第2創業・経営革新セミナーの受講者の内 意欲のある者	2件	1件
創業セミナー参加者の内 創業予定者・創業者 ※経営分析は対象外	2件	1件

（参考1）令和3年度経営指導員等による相談・指導実績

巡回訪問	589回
窓口相談	849回

（参考2）令和3年度彦愛犬商工会経営発達支援計画に係る連携セミナー実施状況

セミナー名	実施年月日	会場	時間	講師	参加者数
事業計画策定セミナー	R3.8.19(木)	愛荘町商工会	14:30～16:30 19:00～21:00	中小企業診断士 山本 邦博	(4名) (9名) 13名
補助金活用個別相談会	R3.9.7(火) R3.11.18(木)	愛荘町商工会	9:00～17:00	中小企業診断士 山本 邦博	(7名) (4名) 11名 (重複あり)
SNS・IT活用セミナー	R3.9.10(金)	愛荘町商工会	17:00～19:00	中小企業診断士 乾 竜夫	20名
SNS・IT活用セミナー個別相談	R3.9.17(金)	愛荘町商工会	10:00～17:00	乾 竜夫	7名
創業支援セミナー	R3.10.10、17、24、 31、11.7の毎日曜	稲枝商工会	10:00～16:00	中小企業診断士 岡田 明徳 備シー・マインド 宮道 京子(17日のみ)	17名 (10.10) 14名 (10.17) 14名 (10.24) 13名 (11.7)
創業支援セミナー個別相談会	R3.11.28(日)	稲枝商工会	10:00～16:00	岡田 明徳	8名

（参考3）令和3年度多賀町商工会補助金申請支援実績件数

小規模事業者持続化補助金	11件
事業再構築補助金	3件
滋賀県経営力強化支援事業補助金	18件

[この取り組みに対する効果・検証]

新型コロナウイルスの影響もあり参加者数を制限して各セミナーを開催したため、セミナー受講者の内意欲ある者に対する支援は目標数に届きませんでした。一方、経営指導員等による巡回訪問や窓口相談時のヒアリングに基づく支援は目標数を上回ったため経営状況分析支援と事業計画策定支援とも全体目標を達成することができました。

補助金申請に関する支援が大半を占めるため、事業計画策定後の実施支援を通じて補助事業の進捗管理を通じてさらなる支援を提案して、継続的な個社支援へとつなげていく必要があります。そのためには補助金の申請支援の際に、採択ありきの事業計画ではなく、適切な経営分析と事業計画策定を行い、継続して経営努力に取り組む必要性を感じてもらわなければなりません。

6. 事業計画策定後の実施支援に関すること

[実施内容・定量目標達成率]

1) 定期的な進捗状況確認

事業計画策定事業者に対して、経営指導員等が原則四半期ごとに巡回訪問を実施し、事業計画策定後の実施支援（フォローアップ）を行いました。事業計画の進捗状況を確認すると共に差異分析を行い、計画遂行上の課題を把握し、P D C Aサイクルに基づき課題への対応方法を支援事業者と共に検討しました。

項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
フォローアップ対象事業者数	22社	28社	127%	A
フォローアップの頻度(延回数)	96回	130回	135%	A
売上増加事業所数	18社	22社	122%	A
利益率2%以上増加の事業所数	18社	22社	122%	A

(参考4) 令和3年度フォローアップ頻度別対象事業者数

フォローアップ頻度	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	12回	14回	合計
対象事業者数	6社	3社	2社	4社	3社	3社	3社	2社	1社	1社	28社

[この取り組みに対する効果・検証]

支援事業者数が28社（前年度比4社増）、フォローアップ頻度（前年度比40回増）と目標を上回りましたが、大部分は補助金申請に関する支援となりました。前述した通り、補助事業の進捗管理を通じてさらなる支援を提案し、継続的な個社支援へとつなげていく必要があります。そのためには補助金の申請支援の際に、適切な経営分析と事業計画策定を行い、継続した経営努力の必要性を感じてもらわなければなりません。支援事業者に対するフォローアップ頻度は適正範囲内(参考4)にあります。補助金の実績報告支援後にフォローアップ頻度の低下傾向が見受けられるため、より中長期的視座を持ち伴走型支援を継続実施いたします。

7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

[実施内容・定量目標達成率]

1) 商談会への出展支援 (BtoB)

新商品開発や現商品のブラッシュアップに意欲ある支援事業者の商談会への出展支援 (BtoB) を行いました。販路開拓の成果が上がるよう①～⑤の支援を実施しました。

- ①専門家による展示会前段準備支援 4社各1回実施
- ②専門家による展示ブース等に関する支援 4社各1回実施
- ③外食ビジネスウィーク出展支援 2社実施 農業ウィーク出展支援 2社実施
展示会中、経営指導員が出展者別にブースレポートを作成
- ④専門家による展示会後のフォローアップ支援 4社各1回実施
- ⑤経営指導員による出展後伴走型支援を実施



2) 地域イベントへの出展支援 (BtoC)

食品、菓子製造小売業者の中から新商品開発や現商品のブラッシュアップに積極的な支援事業者を対象に、安定した一般顧客の集客が見込まれる地域イベントへの出展、出品 (BtoC) を支援しました。

EXPASA多賀11周年感謝祭

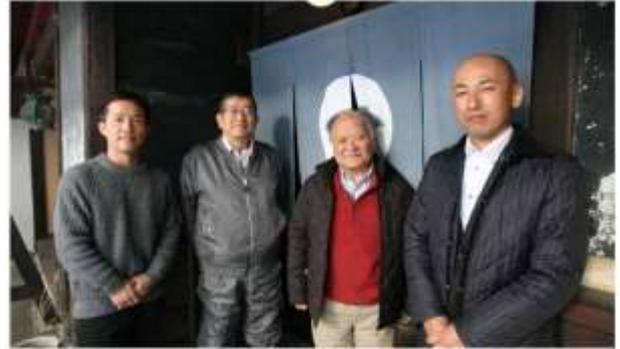
(11/3 11/7 11/20 11/21 11/23) 1社



3) IT・SNSの活用支援

IT・SNSを十分活用できていない支援事業者を対象に、具体的なIT・ICTの利活用の個別支援を実施しました。新たにアクティビティやレジャー等の観光体験サービスを提供する支援事業者に対して、遊びの予約サイト「アソビュー！」を運営するアソビュー株式会社と連携し、体験サービスのブラッシュアップ支援とサイト掲載支援により、販路開拓を支援しました。

遊びの予約サイト「アソビュー！」との連携支援 2社



左から、地元でデザイン会社を経営する小林一彦さん、彦根景観フォーラム代表でさとやま多賀理事の濱崎一志さん、さとやま多賀代表の桂善哉さん、多賀町商工会の永井康雄さん

項目		定量目標	実績	達成率	定量評価
商談会 (BtoB) 出展支援	支援者数	1社	4社	400%	A
	成約件数/社	1件	5件	500%	A
イベント (BtoC) 出展支援	支援者数	2社	1社	50%	C
	売上額/社	2万円	1万円	50%	C
IT・SNSの 活用支援	支援者数	5社	2社	40%	C
	売上増加額 (月)/社	5万円	1万円	20%	D

[この取り組みに対する効果・検証]

新型コロナウイルスの影響で、市場の不確実性が高まっている状況において、支援事業者の着実に販路拡大につながる「展示商談会等への出展支援」および「IT・SNSの活用支援」の重要性は高まっています。当初支援の実施を予定していた「しんきんビジネスマッチングフェア」などの商談会や「多賀ふるさと楽市」、滋賀県立大学「湖風祭」など地域イベントの多くが中止されたため、一部の出展支援を計画通りに実施できませんでした。また、彦愛犬商工会で連携開催したIT・SNS活用セミナーへの当町からの参加が2名にとどまったためIT・SNSの活用支援を十分に行うことができませんでした。継続実施するためには、支援事業者の選定と財源確保も含めた工夫が必要であると考えられます。

8～10. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

[実施内容・定量目標達成率]

本事業の円滑な実施のための評価のしくみを構築し、経営指導員等の資質向上や他の支援機関との連携による支援力向上を図るため①～⑧の取り組みを行いました。

- ①事業評価委員会の開催（中間評価・年度評価）
- ②県商工会連合会主催の職員研修等を積極的に活用した経営指導員の資質向上
- ③県商工会連合会スーパーバイザー派遣事業を活用したOJT制度の導入
- ④支援事業者の状況を全職員が相互共有できるようデータベース化
- ⑤事務局長・事務局責任者会議への出席
- ⑥多賀町地域活性化対策会議への出席
- ⑦彦愛犬地域5商工会法定経営指導員連絡会議
- ⑧日本政策金融公庫との連携（金融情勢並びに景況情報の交換）

項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
事業評価委員会の開催（回）	2回	2回	100%	A
事務局長・事務局責任者会議への出席（回）	4回	7回	175%	A
多賀町地域活性化対策会議の開催（回）	4回	3回	75%	C
彦愛犬地域5商工会法定経営指導員連絡会議の出席（回）	4回	4回	100%	A
経営改善貸付推薦団体連絡協議会の出席（回）	2回	2回	100%	A

[この取り組みに対する効果・検証]

オンライン形式での会議出席を含め、おおむね計画通りに資質向上、連携支援に関する事業を実施することができました。引き続き、町内事業者の経営課題に的確に対応できるように支援担当者のスキルアップのため研修に参加します。今後も、行政や他の支援機関との連携を保ちながら積極的に情報交換を実施し、支援力向上のために連携体制を構築していくことが望まれます。

11. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

[実施内容・定量目標達成率]

行政と地域内の関係団体、商工会が、地域の方向性を共有し、連携して地域経済活性化のための事業を実施しました。

1) 町担当課との連携会議の開催

町行政担当課と法定経営指導員による商工施策の情報共有のための連絡協議体制を毎月継続しました。長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業等の事業継続を支援する多賀町独自の支援施策を円滑に実施することができました。

多賀町中小企業等事業継続支援給付金 87社 455万円
 災害発生時緊急連絡網整備事業 80社
 お食事券100万円分が当たる地元商店応援キャンペーン
 事務補助職員の設置による情報発信強化



2) 多賀そば地域協議会の発展的継続事業実施

多賀そば地域協議会の事務局として、多賀町の特産品「多賀そば」のブランド確立に向けた情報発信や将来にわたり安定的な事業となるような事業を継続的に実施しました。手打多賀そばを土曜日に「もんぜん亭」で提供（新型コロナウイルス感染症の影響による閉店期間あり）した他、年末には年越しそばとしてPR提供を行いました。また、多賀そば乾麺のPR販売にも注力し、イベント販売、委託店販売、多賀町ふるさと納税返礼品の協力を行いました。



3) 絵馬通りの活性化を考える会への積極的参画

多賀町作成の中心市街地活性化基本計画に基づき、絵馬通りの活性化を推進する施策への提言を目的とする「絵馬通りの活性化を考える会」へ積極的に参画しました。

項目	定量目標	実績	達成率	定量評価
町担当課との連携会議の開催	12回	12回	100%	A
多賀そば地域協議会の発展的継続事業実施	2回	4回	200%	A
絵馬通りの活性化を考える会への積極的参画	4回	6回	150%	A

[この取り組みに対する効果・検証]

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、ライトアップ事業「近江多賀 神あかり」や「多賀ふるさと楽市」等、大半の地域活性化イベントを中止しましたが、おおむね計画通りに事業を実施することができました。新型コロナウイルス感染拡大期にも行政や関係機関との会議を継続して開催し情報共有を図ったことで、地域経済の活性化に資する取組のスピードと質の確保ができたことは一定の評価ができると考えています。今後も、行政や関係機関との連携を保ちながら、ウィズコロナ時代の事業実施体制を構築していくことが望まれます。

■ 総括

新たに多賀町と共同で5か年計画を作成し、令和3年度が新計画初年度となりました。認定された支援計画に基づき、町内の小規模事業者の持続的発展及び地域経済活性化に向け、行政と連携協力して伴走型支援を行いました。彦愛犬商工会の枠組みで実施した前計画と比較して、地域特性を反映させて、より業績や成果に結びつきやすい支援を展開できたと感じています。

令和3年度未実施のビッグデータを活用した地域経済動向調査については、町内の小規模事業者にとって経営の糧となる有益な分析となるよう内容を検討した上で実施いたします。

本事業の肝である経営分析および事業計画策定の支援件数は前年度より増加しているものの補助金の申請に関連した支援が大部分を占めていて、補助事業終了とともに支援が途切れてしまうのであれば、伴走型支援、個社支援とは言えません。補助金申請は支援のきっかけであり、補助事業終了後も継続した支援を行うために支援事業者への提案や関係構築を行っていくことが必要です。

また、今年度はコロナ禍の影響もあり本事業で想定していない支援(参考5)もありましたが、経営発達支援計画の実施項目に関わらず、経営環境の変化に応じた柔軟な支援を実施することが望まれます。

今後、ウィズコロナ時代において、多賀町商工会の強みである巡回指導・窓口指導による伴走型支援、個社支援を充実させていくことで意欲ある小規模事業者を掘り起こし、本事業の実績と地域経済への貢献を高めて参ります。

(参考5) 新型コロナウイルス感染症対策事業

小規模事業者持続化補助金申請支援
小規模事業者持続化補助金<低感染リスク型ビジネス枠>申請支援
ものづくり補助金申請支援
事業再構築補助金申請支援
一時支援金申請支援
月次支援金申請支援
事業復活支援金申請支援
滋賀県新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業【緊急枠】・【通常枠】申請支援
滋賀県事業継続支援金申請支援
多賀町中小企業等事業継続支援給付金
滋賀県酒類販売事業者支援金
滋賀県営業時間短縮要請等に係る協力金申請支援
雇用調整助成金申請支援
滋賀県地域経済活性化事業の実施

＜令和3年度 多賀町商工会 経営発達支援計画 総括事業評価表＞

実施項目	実施内容	評価			改善策
		定量評価項目	定量	総合	
3-1. 地域経済動向調査に関すること	1) ビッグデータを活用した地域経済動向調査	分析回数	E	E	計画的な実施と進捗管理を徹底する
3-2. 需要動向調査に関すること	1) 展示会、商談会出展による需要動向調査 (B to B)	調査対象事業者数	A	B	支援事業者の選定と財源確保も含めた工夫しながら同支援を継続する
		調査サンプル数	A		
	2) イベント会場・観光地での消費者アンケート調査 (B to C)	調査対象事業者数	C		
		調査サンプル数	C		
4. 経営状況の分析に関すること	1) 経営状況の分析	経営分析件数	A	A	適切な経営分析と事業計画策定を行い、継続して経営努力に取り組む必要性を伝える
5. 事業計画策定支援に関すること	2) 事業計画策定支援	事業計画策定件数	A	A	
6. 事業計画策定後の実施支援に関すること	1) 定期的な進捗状況確認	フォローアップ対象事業者数	A	A	補助金支援終了後も継続した支援提案を行う
		フォローアップの頻度 (延回数)	A		
		売上増加事業所数	A		
		利益率2%以上増加の事業所数	A		
7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	1) 商談会出展支援 (B to B)	支援者数	A	C	支援事業者の選定と財源確保も含めた工夫しながら同支援を継続する
		成約件数/社	A		
	2) イベント出展支援 (B to C)	支援者数	C		
		売上額/社	C		
	3) IT・SNSの活用支援	支援者数	C		
		売上増加額	D		
8~10. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	1) 事業評価委員会の開催	開催回数	A	A	今後も、行政や他の支援機関との連携を保ちながら積極的に情報交換を実施し、支援力向上のために連携体制を構築していく
	2) 事務局長・事務局責任者会議への出席	出席回数	A		
	3) 多賀町地域活性化対策会議の開催	開催回数	C		
	4) 彦愛犬地域5商工会法定経営指導員連絡会議の出席	出席回数	A		
	5) 経営改善貸付推薦団体連絡協議会の出席	出席回数	A		
11. 地域経済の活性化に資する取組に関すること	1) 町担当課との連携会議の開催	開催回数	A	A	今後も、行政や関係機関との連携を保ちながら、ウィズコロナ時代の事業実施体制を構築していく
	2) 多賀そば地域協議会の発展的継続事業実施	実施回数	A		
	3) 絵馬通りの活性化を考える会への積極的参画	参画回数	A		

■ 経営発達支援事業に対する有識者の意見

経営発達支援事業の評価および見直しのため、事業評価委員会を開催し、有識者より意見をいただきました。当該委員会の評価結果は、当会の理事会にフィードバックした上で、事業計画等に反映させるとともに、多賀町及び商工会のホームページに掲載（年1回）することで、地域の小規模事業者等が常に閲覧可能な状態といたします。

日時 令和4年4月18日（月） 13：30～14：30

場所 多賀町商工会館

委員	役職名	氏名	所属機関等
	委員長	田畑一佳	外部有識者（中小企業診断士）
	委員	飯尾俊一	多賀町産業環境課課長
	委員	宇野 剛	滋賀銀行多賀支店長
	委員	角田博之	滋賀中央信用金庫多賀支店長
	委員	安田良介	多賀町商工会理事
	事務局	上田克也	多賀町商工会事務局長
	委員 事務局	三田剛史	多賀町商工会参事（法定経営指導員）
	オブザーバー	中西賢次	長浜市商工会（令和3年度法定経営指導員）

(有識者の主な意見)

<事業評価>

全体として経営発達支援事業にしっかりと取り組んでいただいたと評価します。
コロナ禍において、事業計画策定やその後のフォローアップをしっかりと実施し、売上高や利益率の向上を実現できた事は評価できます。
コロナ禍においてイベントやセミナーの中止が相次ぎ、イベント出店支援やアンケート調査を計画通りできなかった点は残念でした。本件、外部環境の急激な変化によるもので致し方ないと考えますが、令和4年度には計画目標を達成できるよう頑張ってください。
地域経済活性化への取り組みも目標達成しており評価できます。 引き続き地域経済発展に向けて頑張ってください。
令和3年度はコロナで一番きつかった年でした。そのなかで、業種にかかわらず会員様に公平に働きかけていただいた点は評価できます。
コロナ禍においてイベントでなかなか事業ができにくいなか、ウェブ会議等工夫して実施されている点は評価できます。

<来年度への改善要望事項>

小規模事業者に対するサステイナブル導入支援も積極的に取り組んでください。
地域経済動向調査を来年度は必ず実施してください。
補助金支援等一時の支援に留まらず、引き続き伴走型支援を頑張ってください。
コロナ禍はプラスとマイナス両面に極端に振れた時期でした。 令和3年度はコロナに振り回されての事業内容が多く見受けられましたが、商工会が本来支援すべき内容かどうかしっかりと吟味して事業を実施してください。
事業終了年度には、最終的に目標を達成できそうですが、今後もウクライナ紛争等外部環境の変化は予断を許さない状況が続きます。これらの状況に合わせながらしっかりと事業を実施してください。
現在の日本において大きな課題である事業承継に対するアプローチもしっかりと実施してください。そのためにも計画策定の中で事業承継計画策定にも力を入れてください。